



社会福祉協議会だより

第48号

令和7年4月1日 発行
高砂地区社会福祉協議会

発行責任者
遠藤 幸男

この一年を振り返って

高砂地区社会福祉協議会 会長 遠藤 幸男

高砂地区社会福祉協議会会長の遠藤と申します。

日頃は、高砂地区社会福祉協議会に対しまして、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

令和6年度は、新型コロナウイルス感染症を心配せずに、4年ぶりに本来の活動を行うことができました。

高砂地区社会福祉協議会の主要事業である「見守り活動と生活支援活動」・「ふれあいいきいきサロン活動」・「子育て支援活動」・「高砂赤十字奉仕団活動」・「高砂共同募金会」、そして「社会を明るくする運動高砂地区推進員会」等は、明るく元気に澁刺と活動することができました。

また、高砂・福室・田子市民センター（たごっ子）まつりに参加し、高砂地区社会福祉協議会の活動内容を地域の皆様に紹介してご理解とご協力を頂くこともできました。

これもひとえに、高砂地区社会福祉協議会役員と会員の皆様方のご協力の賜物であり、そしてご理解して下さる地域住民の皆様に感謝と御礼を申し上げます。

今後とも、皆様方のご理解とご協力を賜り、高砂地区社会福祉協議会は、明るく元気に活動して行く所存ですので今後とも宜しくお願い申し上げます



コロナ禍明け、4年振りの本格的な活動。「市民センターまつり参加」、「子育て支援活動」、「ふれあいいきいきサロン活動（栄四丁目町内会）」等

高砂赤十字奉仕団実技研修会・社会を明るくする運動講演会

～救命救急短期講習会～



いざという時に備えた救命救急の実技研修

全国で大きな災害や事故が今年も発生しました。高砂奉仕団員は昨年に引き続き救命救急の実技研修会を令和6年10月22日高砂市民センターにおいて開催致しました。研修内容の第一部は、日本赤十字社宮城県支部の講師から「赤十字の組織や活動」、第二部では「心肺蘇生・AEDの操作方法について」の実技の指導を受けました。参加者（39名）から「日常生活における事故や災害時の応急措置の知識と技術を学び有意義な実技研修であった」との声が有りました。

「寛容な社会を目指して」～情報を読み解く力～

令和6年7月11日「第74回社会を明るくする運動高砂地区講演会」を講師に元河北新報社専務の小野木克之氏を招き、「寛容な社会を目指して～情報を読み解く力～」と題しまして開催しました。

〔講演の主な概要〕

現代社会は多様（ダイバー）な時代です。多くの不寛容な問題が起きていて、メディアリテラシー（情報の読解力）等により、より良い社会を作ることが必要です。

新聞の良い点（①情報が正確 ②安心感 ③社会に対する影響力 ④学力の向上 ⑤視野の拡大）を活用して多様性を認め合う（心をニュートラルにする）ことができます。また、思い込みは避ける必要があります。無理やストレス・こだわりを捨て相手の立場に立って、自分の内側を見ると寛容な社会の構築が出来ると思います。



講演冒頭の石田前総理のビデオメッセージを視聴する町内会長、民児員等多くの参加者

祝

令和六年度

各団体表彰者の紹介

日本赤十字社宮城県支部表彰		民生委員児童委員	仙台市民生委員	全国民生委員
★奉仕団員表彰（町内会長）	★町内会表彰	市制施行135周年記念式	児童委員大会	児童委員大会
◎宮城県支部長表彰	福室東	★仙台市長表彰	★市民児協会会長表彰	◎功労者
牛坂 勝（福田町横丁）	福室寿	◎市政功労者	◎永年勤続	菅野 征子
花淵 政市（福室中央）	福室中央	加藤 信一（高砂第三）	佐々木健一（高砂第二）	◎永年勤続
阿部 武雄（中野新町）	福田下	◎永年勤続	古野真理子（高砂第三）	仙台市長表彰者と同じ
菊田 信（中野二丁目）	ダイヤパレス高砂	木下 義章（高砂第一）	仙台市社会福祉大会	
遠藤 新也（南福室）	◎仙台市地区本部委員会委員長表彰	加藤 恵子（〃）	★仙台市長表彰	
遠藤 幸男（港南）		春日 孝子（〃）	◎功績顕著	
◎仙台市地区本部長表彰	★町内会表彰	片岡真理子（〃）	屋代 純子（高砂第三）	
川名 清（田子西）	新浜	富田 吉明（高砂第二）	全国民生委員児童委員大会	
戸島 正助（栄二丁目）	堀切	佐藤 義一（〃）	★仙台市長表彰	
市川 英明（栄三丁目）	栄三丁目	郡山千賀子（〃）	◎優良民生委員児童委員協議会	
★町内会表彰		渡邊 眞弓（〃）	高砂第三地区	
南蒲生/福室新田前		鈴木 恵美（高砂第三）		
仙台市共同募金委員会会長表彰		佐久間請子（〃）		
阿部哲治（高砂団地西区）				

（敬称略・町内会名略・民児協略）

おめでとうございます



R6 年度も日赤・共募・民児員で活動されている多くの方々が表彰を受けました



令和6年度市民センターまつり 高砂地区社会福祉協議会の活動模様！



高砂社協は、毎年市民センターまつりに参加しております。

高砂（R 6, 10, 19）・福室（R 6, 11, 2）・田子（たごっ子まつり R 7, 2, 15）の市民センターまつりが開催されました。福室市民センターまつりはあいにく雨に降られ天候に恵まれませんでした。3会場とも昨年よりも展示物、催物、出店が充実し、来場者も多く賑やかな開催となりました。

日赤奉仕団は来場者のアンケートを取りながら日赤活動（災害支援・献血・人命救急等）の説明を行いました。アンケートでは、災害や人命救助等の実施についての要望が多くありました。また、共同募金会は、役員作成のパンダやシマエナガ鳥のワッペン付赤い羽根の募金活動を行い子供達に喜ばれました。その外、小地域福祉ネットワーク活動・子育て支援活動・社会を明るくする推進活動のパネルを掲示して来場者へのPR活動を行いました。

（高砂）



（福室）



（田子：たごっ子）



各まつり会場の高砂社協の活動について盛り上げるパンダやシマエナガ鳥等の工作物

高砂社協歳末助け合い事業

高砂社協の小地域福祉ネットワーク活動の一つである歳末助け合い事業を実施致しました。コロナ感染症は収まりましたが、未だ高齢者にとって油断のならない病気です。感染予防のため昨年同様一人暮らし高齢者約1,000名に地域の民生委員児童委員を通してマスク2セット（7枚入り／1セット）を贈呈致しました。



民児員が高齢者宅を訪問しマスクを贈呈

トピックス

～地域とともに歩む中野中生～ ふれあい交流会



高校生のチアダンスを楽しむ高齢者

令和6年9月14日中野中学校では、「尊敬と思いやりの心を育てる」ことを目的に地域の高齢者を招待し、地域の保育所、小学校、中学校、高等学校の児童・生徒がステージ発表を行いました。

この交流会は中学生中心の運営で開催され、中学生も高齢者と一緒に観覧して高齢者と一体となり発表を盛り上げ交流を深めました。

地域とともに歩む中野中生は、ふれあい交流会のほか地域貢献デーとして、高齢者にシトラウスリボンやドリームレターを行いました。

（注）ふれあい交流会は高砂地区社会福祉協議会が協賛団体です。



中学生と楽しくふれあう福室、中野栄地域の多くの高齢者

小地域福祉 ネットワーク活動

令和6年度福祉委員研修会開催

令和7年2月20日（木）福室市民センターにおいて高砂社協福祉委員研修会を開催致しました（参加者79名）。宮城県沖地震が今後30年の間に80%～90%の確率で発生するという予測がでております。日常、地域の高齢者の見守り活動等を行っている福祉委員の方々は、地域の防災について中核を担っていると言っても過言ではありません。今回、「くらしの学びサポートオフィス HumanBeing代表菅原清香氏」を講師に招き、ゲーム感覚の防災すごろく「助け合って（GO）～！」で



「いざ」という時に備え、防災すごろくを楽しむ福祉委員

「いざ」という時の備えに防災知識の学習や確認を楽しく行いました。当地域は他地域よりも防災意識が高いのですが、「楽しく改めて防災知識を学ぶことができ有意義な研修会でした」という多くの福祉委員の方からの感想を頂きました。



防災すごろく開始の合図を待つ大勢の福祉委員

令和6年度上期実施状況

高砂地区社協の根幹事業である「小地域福祉ネットワーク活動」の令和6年度上期における活動状況をご報告いたします。

昨年同時期（コロナ第5類移行期頃）に比べ「訪問・電話等による安否確認」は若干の増加、また、「ふれあいいきいきサロン」、「ブロック会議」は大幅に増加しました。

特に、ふれあいいきいきサロンは高齢者のコミュニケーションの場として大変盛り上がりました。

(1)訪問・電話等による安否確認（見守り）		(3)ブロック会議開催数
項目	活動状況	15回
安否確認世帯数	延5,507世帯	
安否確認回数	延26,810回	
家事手伝い件数	307件	
(2)ふれあいいきいきサロン開催		
項目	活動状況	
実施町内会数	18町内会	
実施件数	21件	
参加高齢者数	371人	
支援者数	143名	



高齢者宅訪問見守り活動

子育て支援活動

コロナ禍で中止していた子育てサロンが再開して2年が経過しました。

子育てサロンの再開を待って

いた方や初めて参加の方など少しずつ参加者が増加して、子供達やお母さん・お父さんの笑顔や笑い声でいっぱい楽しいサロンとなっております。今年度もワイワイ、賑やかに皆が集える楽しい子育てサロンにしていきたいです。



おもちゃ等で楽しく遊ぶ、子育てママ、幼児、支援員

ふれあいいきいきサロン

ふれあいいきいきサロンは、コロナ禍も開け、各町内会で活発に開催されました。

歌、踊り、軽体操、演劇鑑賞などで心と体の健康を育てておりました。



いつも「元気・はつらつ・健康維持」の軽体操（港南町内会）

◆編集後記◆ 阪神大震災が発生してから30年経ち記憶の風化が一層懸念されております。「災害を知らない世代にも当事者意識をもてるような記憶の継承が必要」と言われております。被災経験者が減るのは必然ですが、地域住民が行う防災行事に関わるために、今年度の福祉委員研修会は「防災訓練」の一助になればと思い、防災に関する研修を行いました。

副会長（総務担当）稗貫 繁